

平成 26 年度事業報告書概要版

(社会福祉法人静岡市しみず社会福祉事業団)

1 事務局：昭和 57 年 4 月設立

1 主たる事業

本年度も市より各施設に係る管理業務を受託し、障害者総合支援法に基づく法定施設及び受託施設の円滑な運営を図るとともに、経理、出納、物品の取扱い等の各種事務、財産の維持保全、予算、決算事務を行った。

また、指定管理事業者として常に利用者の視点に立ち、長年培ってきた支援技術と福祉サービスの充実を図るとともに、事業団経営計画に基づき、経営検討会議で進捗状況と課題の分析等を行うなど更なる経営の健全化と安定化を図った。

2 評議員会、理事会の開催状況

会議名	開催回数	延出席人数	主な審議事項
評議員会	2 回	22 人	・平成 25 年度事業報告及び各種会計収支決算の認定 ・平成 26 年度各種会計収支補正予算 ・定款の一部改正
理事会	2 回	11 人 (監事除く)	・平成 27 年度事業計画及び各種会計収支予算 ・役員を選任、施設長の任命 ・理事長専決事項報告等

3 監事監査

平成 26 年 5 月 15 日、監事 2 人による平成 25 年度関係の決算書類及び付属関係書類、関係諸帳簿との照合、係数検査等の監査を受け、適正、かつ正確に行われたとの報告を受けた。

4 第三者委員への苦情・要望内容の報告会

平成 26 年 5 月 14 日、各施設に寄せられた苦情・要望内容について第三者委員 2 人に報告したが、個々の苦情解決並びに直接、施設運営適正化委員が受け付けた案件はなかった。

5 職員配置状況

正規職員 35 人、嘱託職員等 30 人の計 65 人を各施設にそれぞれ配置し、業務に万全を期した。

6 職員研修

内部講師による階層別研修を計画的に実施したほか、防災や産業医による全体研修、専門研修、外部研修、視察研修等に積極的に参加し、資質の向上に努めた。

7 防災訓練、研修等

年 3 回、事業団全施設を対象に、地震による火災発生を想定した初期消火訓練や避難誘導訓練、津波避難訓練等の総合防災訓練のほか、全職員を対象にした防災研修として、日本平消防署職員を招いて「南海トラフ大地震に備えて」について学んだ。

2 静岡市清水みなとふれあいセンター（身体障害者福祉センター）[昭和 57 年 4 月開設]

在宅障害者を対象に機能訓練や創作的活動を行ったほか、障害者団体が実施する事業の運営協力、一般市民を対象にした施設見学や福祉体験の受入れ、静岡市から委託を受けた障害者スポーツ教室、手話奉仕員養成講座、点字講習会、要約筆記者養成講座の開催等、各種事業を実施した。

1 機能訓練及び創作的活動内訳

事業	内容	実施 延回数	参加人員
機能訓練 社会参加促進	書道・ペン習字・パソコン 陶芸等 計 7 教室	76 回	924 人
体力増進	卓球・ボッチャ・水中運動・グ ラウンドゴルフ等 計 8 教室	124 回	1,536 人
合計		200 回	2,460 人

2 委託事業内訳

事業	内容	実施回数	参加人員
静岡市障害者 スポーツ教室	フライングディスクほか	4 回	93 人

事業	内容	実施回数	参加人員	参加延人員
手話奉仕員 養成講座	清水区 [夜の部]	46 回	25 人	914 人
	葵・駿河区 [昼の部]	46 回	32 人	1,185 人
点字講習会	清水区会場	3 回	3 人	9 人
	葵・駿河区会場	3 回	3 人	6 人
要約筆記者 養成講座	手書きコース	11 回	7 人	53 人
	パソコンコース	11 回	5 人	56 人
	手書き・パソコンコース	17 回	1 人	13 人
合計		137 回	76 人	2,236 人

3 施設利用等内訳

区分	件数
運動広場	55 件
多目的ホール	12 件
合計	67 件

3 静岡市清水ひびきワーク(生活介護事業所・定員：20名) [昭和57年4月開設]

利用者の生活を支援するために個別支援計画を作成し、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう創作的活動又は生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

1 利用者の状況(平成26年度末利用契約人員：18人)

(1) 年齢調べ

最長	最少	平均
61歳	31歳	43.6歳

(2) 平均在所年数

男子	女子	全体
15.0年	19.1年	17.0年

(3) 障害支援区分(受給者証)内訳

区分	1	2	3	4	5	6	計	平均
人数	0人	2人	6人	4人	5人	1人	18人	3.8

(4) 入退所状況

入所	退所
1人	1人

(5) 利用状況

開所日数	利用延人員
272日	3,568人

2 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
外岡作業所	箱折(ケーキトレー、菓子の箱折り、ひも通し)
蒔田紙器(株)	ダンボール型抜き、組み(薬品梱包用)
E S 産業	コネクター刺し
安藤紙業(株)	分別作業

(2) 収入状況

年度別	平成 26 年度	平成 25 年度	増減
収入金額	1,047,515 円	1,156,423 円	△108,908 円

(3) 工賃支給状況（月額）

最高	最低	平均
14,310 円	270 円	4,765 円

3 主要行事等

行事名	実施月	回数
生活支援	毎月	20 回
選択活動、外出活動	随時	16 回
スポーツフェスティバル	5 月	1 回
バスハイク	5 月・10 月	2 回
新春もちつき大会	1 月	1 回

この他、避難訓練、健康診断、歯科保健活動等を実施した他、施設入所を前提とした体験実習、大学、専門学校生の実習、市民ボランティアを積極的に受け入れた。

4 静岡市清水うみのこセンター（母子療育訓練センター）[昭和 57 年 4 月開設]

心身に障害があると思われる乳幼児の早期発見、早期療育を目的に、療育相談や指導、生活自立への援助、母親指導等を行うとともに、地域の関係機関と連携し、共通理解のもと発達につまづきがあると思われる子どもとその保護者一人ひとりの生活に応じた支援に努めた。

また、清水、蒲原保健センター主催のフォローグループの会に参加(年間 32 回)し、問題のあるケースへのアプローチや抵抗なく早期に療育につなげていくための積極的な働きかけを行った。

1 登録者実人員 153 人

2 利用状況内訳

区分	訓練	交流保育	特別指導	訪問指導	相談業務	計
延人数	2,257 人	197 人	45 人	105 人	2,163 人	4,767 人

3 主要行事等

行事名	実施月	回数
特別支援学校・学級見学	随時	11回
年長児母親教室 その他の母親教室	随時	9回
親の会（シンデレラクラブ）	随時	6回
父親参加会	10月・2月	2回
新春もちつき大会	1月	1回

この他、避難訓練等を実施した。また、他機関、関係団体等に対して、必要に応じて職員を派遣し、連携を図った。

6 静岡市清水うしおワーク（多機能型事業所・定員：50名）[昭和58年4月開設]

1 生活介護事業(定員30名)

利用者が自立した日常生活又は社会活動を営むことができるよう個別支援計画を作成し、創作的活動や生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

生産活動については、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

1 利用者の状況(平成26年度末利用契約人員：33人)

(1) 年齢調べ

最長	最少	平均
65歳	26歳	42.2歳

(2) 平均在所年数

男子	女子	全体
16.9年	19.9年	17.0年

(3) 療育手帳調べ(単位：人)

区分 性別	A	B	計
男	22	2	24
女	8	1	9
計	30	3	33

(4) 障害支援区分(受給者証)内訳

区分	1	2	3	4	5	6	計	平均
人数	0人	1人	9人	20人	3人	0人	33人	3.76

(5) 入退所状況

入所	退所
1人	0人

(6) 利用状況

開所日数	利用延人員
272日	7,665人

2 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
(有)ミタカ製作所	戸車の組立加工
(有)鈴恵工業	プラスチック製品の袋詰め
(株)日立アプライアンス	エアコン部品の加工
安藤紙業(株)	古紙回収

(2) 収入状況

年度別	平成 26 年度	平成 25 年度	増減
収入金額	2,128,261 円	2,303,535 円	△175,274 円

(3) 工賃支給状況 (月額)

最高	最低	平均
12,170 円	970 円	4,352 円

3 主要行事等

行事名	実施月	回数
レク活動 (ボウリング・カラオケ等)	随時	27回
中部地区交流スポーツ大会	5月	1回
スポーツフェスティバル	5月	1回
バスハイク	7月・1月	2回
オレンジマラソン大会	10月	1回
一泊旅行	11月	1回

行事名	実施月	回数
新春もちつき大会	1月	1回

この他、避難訓練、健康診断等を実施した他、施設入所を前提とした体験実習、大学、専門学校生の実習を積極的に受け入れた。

2 就労継続支援B型事業(定員：20名)

利用者が自立した日常生活又は社会活動を営むことができるよう個別支援計画を作成し、生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

生産活動については、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

1 利用者の状況(平成26年度末利用契約人員：19人)

(1) 年齢調べ

最長	最少	平均
65歳	32歳	46.8歳

(2) 平均在所年数

男子	女子	全体
12.6年	12.6年	12.6年

(3) 療育手帳調べ(単位：人)

区分 性別	A	B	計
男	6	10	16
女	0	3	3
計	6	13	19

(4) 障害支援区分(受給者証)内訳

区分	無	1	2	3	4	5	6	計
人数	12人	0人	1人	4人	2人	0人	0人	19人

(5) 入退所状況

入所	退所
2人	3人

(6) 利用状況

開所日数	利用延人員
275日	4,546人

2 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
(有)ミタカ製作所	戸車の組立加工
(株)日立アプライアンス	エアコン部品の加工
ボカシ作業	ボカシ製造、袋詰
ニッケー工業	エアコン部品の加工
安藤紙業(株)	古紙回収
(株)まんげつ	教材等の袋詰め、チラシ折等
(株)SPSサポート	チラシ折、封入、ホチキス止め

(2) 収入状況

年度別	平成 26 年度	平成 25 年度	増減
収入金額	5,748,910 円	5,791,034 円	△42,124 円

(3) 工賃支給状況（月額）

最高	最低	平均
41,673 円	6,423 円	19,790 円

3 主要行事等

行事名	実施月	回数
レク活動 (ボウリング・カラオケ等)	随時	27 回
園芸市出店	4 月・10 月	4 回
中部地区交流スポーツ大会	5 月	1 回
スポーツフェスティバル	5 月	1 回
オレンジマラソン大会	10 月	1 回
一泊旅行	11 月	1 回
新春もちつき大会	1 月	1 回

この他、避難訓練、健康診断等を実施した他、施設入所を前提とした体験実習、大学、専門学校生の実習を積極的に受け入れた。

7 静岡市清水うなばら学園（生活介護事業所・定員：60名）[平成3年4月開設]

定員60名の施設で、利用者が自立した日常生活又は社会活動を営むことができるよう個別支援計画を作成し、それぞれの特性や能力を活かして、健全な社会生活を営むことが出来るよう、生活、学習、作業支援を実施した。

生産活動については、木工、手芸の自主製品の他、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

1 利用者の状況(平成26年度末利用契約人員：59人)

(1) 年齢調べ

最長	最少	平均
60歳	19歳	34.4歳

(2) 平均在所年数

男子	女子	全体
12.2年	16.8年	13.2年

(3) 療育手帳調べ(単位：人)

区分 性別	A	B	計
男	44	2	46
女	13	0	13
計	57	2	59

(4) 障害支援区分(受給者証)内訳

区分	1	2	3	4	5	6	計	平均
人数	0人	0人	3人	25人	24人	7人	59人	4.63

(5) 入退所状況

入所	退所
0人	1人

(6) 利用状況

開所日数	利用延人員
272日	13,324人

2 生産活動

(1) 内容

内容	事業所名等	内 容
請負作業	安藤紙業(株)	CDソフト等の分解・分別
	リサイクル	アルミ缶つぶし・卵の殻肥料づくり
自主作業	手芸	刺し子・袋物等
	木工	花台・キーホルダー・プランターアクセサリー等の切り出し

(2) 収入状況

年度別	平成 26 年度	平成 25 年度	増減
収入金額	836,561 円	778,982 円	57,579 円

(3) 工賃支給状況（月額）

最高	最低	平均
1,530 円	60 円	874 円

3 主要行事等

行事名	実施月	回数
個別活動	随時	8 回
班活動	随時	33 回
スポーツフェスティバル	5 月	1 回
中部地区交流スポーツ大会	5 月	1 回
宿泊活動（2 班で実施）	9 月	2 回
秋の遠足	10 月	1 回
クリスマス外食	12 月	2 回
成人を祝う会	1 月	1 回
新春もちつき大会	1 月	1 回

この他、避難訓練、健康診断等を実施した他、施設入所を前提とした体験実習、大学、専門学校生の実習を積極的に受け入れた。

9 静岡市清水なぎさホーム（生活介護事業所・定員 20 名）[平成 8 年 4 月開設]

在宅の重度障害者を対象に、日常生活訓練を主体とした指導を行い、身辺自立の促進及び家庭介護の軽減を図った。

1 利用者の状況(平成 26 年度末利用契約人員：15 人)

(1) 年齢調べ

最長	最少	平均
46 歳	18 歳	32.1 歳

(2) 平均在所年数

男子	女子	全体
11.9 年	3.8 年	7.5 年

(3) 身体障害者手帳調べ

等級	人数
1 級	12 人
2 級	1 人
無	2 人
合計	15 人

(4) 障害支援区分(受給者証)内訳

区分	1	2	3	4	5	6	計	平均
人数	0 人	0 人	0 人	0 人	2 人	13 人	15 人	5.9

(5) 入退所状況

入所	退所
2 人	1 人

(6) 利用状況

開所日数	利用延人員
271 日	2,924 人

2 主要行事等

行事名	実施月	回数
外出活動	随時	9 回
誕生会、クッキング	随時	9 回

行事名	実施月	回数
季節行事 (クリスマス、節分等)	随時	6回
音楽療法	随時	3回
リハビリ指導	随時	3回

この他、避難訓練、体重測定を毎月1回実施した他、健康診断、歯科保健指導を行った。

3 送迎サービス

送迎を希望する利用者(15人)に対して、リフト付きワゴン車で毎日送迎を実施した。

10 障害者相談支援センターわだつみ(相談支援事業) [平成24年11月開設]

1 特定相談支援・障害児相談支援

静岡市の指定を受けて特定相談支援事業と障害児相談支援事業を行った。

利用者が、そのライフステージに応じた自立した日常生活、又は社会生活が営むことができるよう、適切な計画相談、福祉サービス事業の紹介等を行い、地域の障害児(者)とその家族の福祉の向上に努めた。

1 相談の状況

区分	サービス等利用計画	モニタリング
特定相談	155件	154件
障害児相談	52件	44件
合計	207件	198件

2 障害者等相談支援 平成13年10月事業受託・清水区を担当

静岡市の委託事業で、静岡市障害者等相談支援事業実施要綱に基づき、障害者等相談支援事業として、相談支援事業、障害児等療育支援事業、障害者虐待防止センター事業の各業務を実施し、障害児者等とその家族の福祉の向上を図った。

1 相談支援事業

(1) 相談支援実績

区分	実績	
開設日数	244日	
相談支援	実人数	662人
	延件数	2,422件
個別支援計画	作成件数	8件
	作成支援件数	0件

区 分		実 績
個別支援会議	開催回数	47 回
	参加回数	100 回
自立支援協議会 開催・参加状況	事務局会議	10 回開催
	区連絡調整会議	2 回開催
	全体会議	2 回参加
	市自立支援会議	2 回参加

(2) 支援方法内訳 (単位：件)

区分	訪問	来所 相談	同行	電話 メール	個別支 援会議	関係 機関	計
身体障害	4	0	2	17	1	61	85
知的障害	107	145	137	649	144	1,115	2,298
精神障害	4	2	2	15	3	13	39
計	115	147	141	681	148	1,189	2,422

(3) 相談延件数の支援内容別内訳 (単位：件)

内 容	件数	内 容	件数
福祉サービスの利用等	1,225	生活技術	29
障害や病状	39	就労	59
健康・医療	111	社会参加・余暇活動	5
不安の解消等	184	権利擁護	144
保育・教育	122	障害者虐待	7
家族関係・人間関係	30	その他	333
家計・経済	134		
		合 計	2,422

2 障害児等療育支援事業

内 容	回数	参加人数
訪問による療育指導	2 回	17 人
外来による専門的な療育相談、指導	8 回	47 人
療育技術の指導	5 回	21 人
療育機関に対する支援	3 回	175 人

合 計	18 回	260 人
-----	------	-------